

ふくおかなつやすみチャレンジフェスタ 2026 に出展

～子どもたちがタブレットや白地図を使い地域安全マップを作成～

日本損害保険協会九州・沖縄支部(委員長：谷口 徹 損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員)では、7 月 21 日(火)～8 月 21 日(金)に福岡県庁で開催されている「ふくおかなつやすみチャレンジフェスタ 2026」で 8 月 7 日(金)にブースを出展し、13 名と地域安全マップを作成しました。

このイベントは、こどもたちの体験活動に触れる機会を創出すること等を実施目的として、福岡県が主催し開催されています。

当支部では、来場者とともに白地図やぼうさい探検隊※専用のタブレットを使い、小学校への通学路における危険な箇所等を確認し、地域安全マップを作成する企画を実施しました。マップを作成したこどもたちからは、「細い道はできるだけ避ける。」や「横断歩道を渡るときは注意する。」など今後の登下校等で注意したいことについて気づきの声がありました。

九州・沖縄支部では、関係機関や教育機関とともに、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



ブースの様子



マップ作成のため写真を撮影する様子

※「ぼうさい探検隊」とは

子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004 年度 から「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、今回で 23 回目。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域安全力向上の一助になっている。